



決勝レポート

2018/5/13 Rd-2 AUTOPOLIS

天候：雨 気温：21℃ 出走台数：19台

観客数：12日(土)3,650人 13日(日)4,750人(スーパーフォーミュラ決勝レース中止)

初夏の爽やかな晴天に恵まれた予選から一転、スーパーフォーミュラ第2戦オートポリスは決勝日を迎えたが、朝から雨と霧の天候。

スーパーフォーミュラ決勝直前には雨量が増え、所々に霧も発生し、コースコンディションはさらに悪化。その後の回復が見込めないため、決勝レースは中止となることが決定された。

5：野尻 選手 ——位

ライバルのペナルティにより、ポールスタートだった決勝が、荒天によって中止になってしまったのはとても残念です。スタート時刻の状況はそんなに悪くなく、レースしたかったです。その後の天候の悪化は酷く、荒天の中でドライバーが怪我をしたり、車が壊れたり、さらには観客の皆さんに事故などあってはならない事ですので、中止判断は仕方ないと思います。車のセットアップは週末を通してとてもポジティブな状況でした。この流れのまま、チーム戦略と同時にメンタルもしっかり作って菅生に臨みます。

6：松下 選手 ——位

天候不安定のため慌ただしかったです。予選、雨天のフリー走行を通して大きな手ごたえを感じる週末でした。シーズン序盤でフロントロウスタートと、シーズンを優位に進められる大事な一戦でしたが荒天の影響を総合的に考えるとしかたないですね。

私たちは菅生でも強いと自信を持っています。

短いインターバルですが、しっかりと準備し今回の鬱憤を晴らします。